

✳ [北海道エリア]

ジュニアエレクトーンフェスティバル 2011

北海道部門別大会 小学生低学年部門

7月30日 札幌サンプラザホール

金賞
おめでとう

確かなテクニックと表現力、喜びいっぱいの笑顔で観客を魅了!



小住聖花さん(小学3年)
[Double Up]

エレクトーンの生徒さんたちにも絶大な人気を誇るTRIXのゴキゲンなナンバーに挑戦。キラのある演奏で、聴かせどころのベースソロもかっこよくキメた。



鹿田愛さん(小学3年)
[交響曲 第2番 ロ短調 第4楽章]

速いパッセージ、豊かなフレーズが展開されるポロディンの交響曲。鍵盤を走る指も軽やかに、難曲を見事に自分のものにした演奏は圧巻。



安井千遥さん(小学3年)
[City Slickers II]

映画のメインテーマを、小3ながら迫力あるサウンドを体いっぱい表現した。自分の思ったように表現できたと言うとおり、演奏後は満面の笑顔。



石井稜大さん(小学4年)
[SF交響ファンタジー 第1番より]

特撮映画のために作られたテーマ曲を、オーケストラサウンドで、ゴジラが登場するのは!?!と思わせるほどの迫力で、作曲者の独特の世界を表現した。



奥山絢美さん(小学4年)
[「いやいやながらの王様より」]

毎日1時間半は必ず練習して、楽曲の持つ世界観を作り上げたという。シャブリエの華やかで生き生きとした歌劇を、安定した演奏で印象つけた。



山田侑佳さん(小学4年)
[交響曲 第3番 短調より 第4楽章]

お母さんが選んでくれたという鮮やかな紫のドレスに身を包み、リズムカルかつ活気あふれる壮大なオーケストラサウンドを、圧倒的な演奏力で披露。



野原詞温さん(小学4年)
[歌劇『雪娘』より 道化師の踊り]

ジュニア科のテキストでもおなじみの軽快で躍動的な曲を、細部にわたって思いどおりに表現できたと語っていた。「雪娘」のような真っ白の衣装が印象的。



向井詩織さん(小学4年)
[EVERYTHING'S COMING UP ROSES]

ミュージカルの迫力ある曲をアップテンポの4ビートにアレンジ。卓越したリズム感と見事なベースワークで、大人顔負けの演奏をしてくれた。

北海道もようやく夏が続くようになった7月下旬。ここ札幌サンプラザホールでは、7月30日から4日間にわたり、外の気温を上回るような熱いステージのジュニアエレクトーンフェスティバル 2011 北海道部門別大会が開催されました。

初日は小学生低学年部門。全道各地の店大会から選ばれた小学1年生から4年生まで41名が出場。低学年らしい選曲や演奏もあれば、大人顔負けのテクニック・表現力で聴かせる

演奏もあり会場を沸かせました。

また、初出場に喜びいっぱいの生徒さんや毎年のように出場している生徒さんが、それぞれの想いでステージに立ち、見事なパフォーマンスで観客を魅了。4時間半があっという間に過ぎてしまったほど。

8名の金賞受賞者の「緊張したけどうまく弾けた」と答えてくれた、喜びいっぱいの幼い笑顔が印象的でした。



銀賞を受賞した5名も、笑顔で表彰式に臨んだ。